

# くすの木タイム学習指導案

2019年6月7日（金）学習指導Ⅱ（5の2教室）3年2組 指導者

I 単 元 オープン！ときめき竹細工工房

II 考 察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

## ①知識及び技能

竹細工やその文化、竹細工を守り広めようとする人々の特徴・よさ、それらを得るのに必要な技能

## ②思考力、判断力、表現力等

竹細工やその文化、竹細工を守り広めようとする人々の特徴・よさ等を関連付けながら課題を見だし、解決方法を導き実践する力

## ③学びに向かう力、人間性等

竹細工や竹細工を守り広めようとする人々と関わることへの意欲や自信を高めながら、自ら探究する態度

(2) 学習内容

- ・探究課題 竹細工の文化と竹細工を守り広めようとする人々
- ・その具体 人 : 竹細工を作り続ける地域の方や竹材店の方等の竹細工を守り広めようとする人々  
もの : 繊細で柔らかく、丈夫な竹細工  
こと : 養蚕等の発展やまちの近代化と共に変化してきた竹細工文化

(3) 単元の価値

本単元は、子どもたちが自ら竹細工を作り、竹細工を守り広めようとする人々と関わる中で、竹細工の魅力に気付く、そのよさを発信する学習である。その価値は以下のとおりである。

竹細工とは、竹の繊維を生かして、細かく割った竹ひごを組んだり編んだりした竹製品である。前橋市では、養蚕業の振興に伴い、養蚕の道具としての竹細工が発展し、それらの道具を作製する竹細工職人が活躍していた。しかし、養蚕業の衰退や、プラスチック製品が台頭したこと等に伴い、前橋市の竹細工職人は減少していった。その中で竹のもつ温かみや手触り、均一な美しさといった竹細工の魅力を再考し竹細工を守り広めようとする活動が始まり、竹細工は人々の生活用品としての道具から人々の心を和ませる生活を豊かにする製品へと移り変わってきている。

竹細工には、生活空間に温かみや和の落ち着いた雰囲気を生み出すよさがある。また、竹細工は編み方や竹の皮と身の組合せ方、竹ひごの間隔等を工夫することで、見た目や質感、しなやかさや丈夫さ等を変化させられる特徴がある。そのため、子どもたちは、自分の作りたいものを好きな見た目や質感等で作ることができ、こだわりをもつようになる。そして、竹細工によって、子どもたちは、作ったものに対して、その場の雰囲気とともに愛着をもつことが期待できる。

竹細工を作り、その魅力を地域へ広めることは、地域の歴史や自然、竹細工を守り広めようとする人々の思い等、竹細工に関わる特徴・よさを多様な角度から得ることになる。そして、竹細工の設計図の検討では、編み方や竹の皮と身の組合せ方、竹ひごの間隔等、複数の要素から考える必要があるため、よりよい竹細工に向けて、分析的に見いだした要素を組み合わせながら、よ

りよい解決方法を導く力を高めることにつながる。そして、竹細工を作り、その魅力を広める中で直面する一人では解決が難しい問題は、他者と協働して取り組む必要性を生む。さらにその成果を他者と分かち合うことは、学級や地域の一員としての自信をもつことにつながる。

これらの探究を通して子どもたちは、こだわりをもってものづくりをすることに楽しさを見いだすとともに、竹の温かみや味わいを実感しながら自分の生活を豊かにする物があることに気づき、大切にすることについての概念的な理解をし、自己の生き方を見つめ、広げていく。

#### (4) 今後の学習

竹細工作りといった自分の思いで関わるこの学習は、4年「目指せ！幸せ届ける笑学生」において、人を笑わせて楽しませるといふ、自分の思いに加えて相手の思いや気持ち、立場を汲み取りながら人と関わる学習へと発展していく。

#### 2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは2年生活科「手作りおもちゃであそぼう」において、身近な物である輪ゴムで動くおもちゃの作り方と遊び方の工夫をして友達と楽しく遊ぶ学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 輪ゴムで動くおもちゃを作ったり、作り変えたりした経験を基に、輪ゴムで動くおもちゃやそれを用いた遊びの特徴・よさを得られるようになってきている。このような子どもたちが竹細工の特徴・よさを得られるように、作ることに加えて地域の職人の方と関わる機会を繰り返し設定する。

輪ゴムで動くおもちゃの作り方や、遊び方の工夫について、友達と自分の工夫を必要に応じて見比べたり相談したりできるようになってきている。このような子どもたちが、竹細工の特徴・よさについて比較・分類する際に、改善策を導くPMNを使えるように、それらを用いる機会と用いたよさを振り返る機会を繰り返し設定する。

② おもちゃの動きを根拠に作り方を導けるようになった。このような子どもたちが、竹細工にかかわる複数の特徴・よさを根拠に改善策を導けるように、問題を解決した状態の具体図と自分たちの作製した竹細工の特徴・よさを比較し、改善策を導く機会を繰り返し設定する。

③ 輪ゴムで動くおもちゃを作り、友達と楽しく遊ぼうとする意欲や自信をもてるようになってきている。このような子どもたちが、竹細工文化にかかわる課題の解決へと意欲と自信をもてるように、学習材やそれぞれの解決方法の自己決定・集団決定をする機会を繰り返し設定する。

### Ⅲ 目標及び評価規準

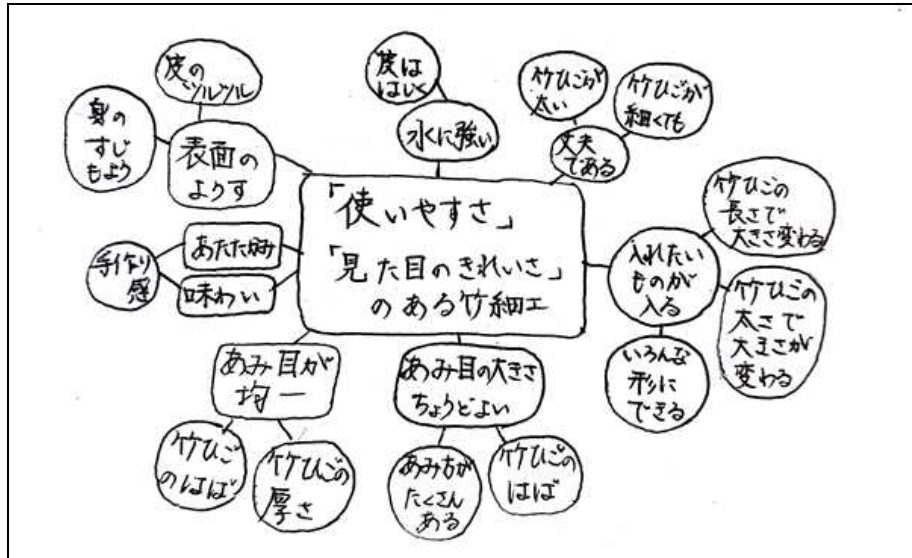
#### Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

#### Ⅴ 本時の学習（15／70時間目）

- ねらい 作った竹細工の感想（よかった点(P)ともっとよくしたい点(M))を基にした改善策(N)を班で話し合うことを通して、竹ひごの太さや長さ、皮や身のバランス等、多様な角度から自分たちの作りたい竹細工の改善策を導く。
- 準備 課題を解決した状態の具体図 PMNシート 対話を支える心構え
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点														
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P 「竹ひごのまっすぐな筋が見える」 からいいと思うけれど、友達の M 「水への強さ」「竹ひごの間隔の広さ」を読むと、水に負けない石けん置きが作れるように解決策を考えたいな。</li> <li>・ 他の班の友達からも感想をもらって友達と改善策を話し合って決めたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作製した竹細工の出来具合について友達との認識のずれを感じられるように、班で作製した竹細工の感想を読み合うよう促す。</li> <li>○他の班の感想を生かして改善策を導くという見通しをもてるように、班で感想を読んで思ったことと本時取り組むべきことを問いかける。</li> </ul>														
<p>めあて「自分たちが作製した竹細工の感想を伝え合い、納得できる改善策を見付けよう」</p>															
<p>2 他の班からの感想をもらい、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の班からの感想にも、Mに「竹ひごの間隔の広さ」「水への強さ」があるな。間隔を狭くしたり、水に強くしたりするなど、いろいろなMを解決する改善策を話し合いたいな。</li> </ul> <p>3 班で竹細工の改善策（N）を話し合う。</p> <table border="1" data-bbox="229 965 772 1216" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">P</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">M</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">竹のまっすぐな筋が見える</td> <td style="padding: 2px;">竹ひごの間隔の広さ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">竹ひごが太いから丈夫に見える</td> <td style="padding: 2px;">水への強さ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">竹ひごの皮と身のバランスに気をつけて、きれいに作れた</td> <td style="padding: 2px;">石けん置きとしての大きさ</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;">編み目の大きさのそろい具合</td> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; padding: 2px;">N</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水に強くするために皮のみで作った方がよい</li> <li>・ 皮のみで作ると、竹ひごが堅くなって竹ひごの間の隙間が大きくなるから、竹ひごを細くすればよい</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼくは、竹ひごの皮のみで作るのがいいと思うよ。だって竹の皮は水をはじくから、M「水への強さ」が改善できそうだからね。</li> <li>・ でも、竹ひごを皮のみにすると、P「竹のまっすぐな筋が見える」が分からなくなるし、皮は堅くて、編んだときに竹の隙間が広がってしまうから、M「竹ひごの間隔の広さ」が改善できないな。</li> <li>・ 友達が言うように、竹のまっすぐな筋が分からなくなるけど、石けん置きとして水に強い方がいいな。皮のみの竹ひごで作っても、細くすれば、細かく編めるから、M「竹ひごの間隔の広さ」が改善できそうだな。</li> </ul> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなで納得のいく改善策を話し合えてよかったな。PとMを基にして考えられたからかな。次はもっとよい石けん置きが作りたいな。</li> </ul>	P	M	竹のまっすぐな筋が見える	竹ひごの間隔の広さ	竹ひごが太いから丈夫に見える	水への強さ	竹ひごの皮と身のバランスに気をつけて、きれいに作れた	石けん置きとしての大きさ	編み目の大きさのそろい具合		N		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水に強くするために皮のみで作った方がよい</li> <li>・ 皮のみで作ると、竹ひごが堅くなって竹ひごの間の隙間が大きくなるから、竹ひごを細くすればよい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちで作製した竹細工の様々な特徴・よさを得られるように、視点「よくできた点（P）」と「もっとよくしたい点（M）」に沿って前時で感想を書いた付箋紙を相手の班からもらうよう促す。</li> <li>○竹細工の改善策を導く手掛かりを得られるように、「対話を支える心構え」を提示し、「よくできた点（P）」と「もっとよくしたい点（M）」「改善策（N）」のPMNシートに、相手の班と自分の班の付箋紙を貼るよう促す。</li> <li>○話し合っているNとその根拠となるPやMのつながりが明確になるように、課題を解決した状態の具体図を提示し、班で話し合っているNとMやPとを線で結ぶように促す。</li> <li>○両立できない複数のNがあった際には、Nの序列化を図れるように、課題を解決した状態の具体図に照らして、優先順位を話し合うよう促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">作った竹細工の改善策の根拠を複数記述したり発言したりしている。</p> <p style="text-align: center;">&lt;学習プリント・発言②&gt;</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今後の追究への意欲を高められるように、導いたNと今後の取組についての発言や、よりよい竹細工を作りたいという思いを取り上げて称賛する。</li> </ul>
P	M														
竹のまっすぐな筋が見える	竹ひごの間隔の広さ														
竹ひごが太いから丈夫に見える	水への強さ														
竹ひごの皮と身のバランスに気をつけて、きれいに作れた	石けん置きとしての大きさ														
編み目の大きさのそろい具合															
N															
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水に強くするために皮のみで作った方がよい</li> <li>・ 皮のみで作ると、竹ひごが堅くなって竹ひごの間の隙間が大きくなるから、竹ひごを細くすればよい</li> </ul>															

【参考資料】



<課題を解決した状態の具体図>

自分の考え 友達の考え よい考え

### 1 + 1 = 3 になるとき

くすの木タイムでは、みんなで1つのことを決める場面が多くあります。自分の考えだけでなく、友達の考えを生かすと、予想を超えたよりよい考えをつくりだせることがあります。そんなよりよい考えをつくりだせるクラスには、次のような雰囲気があります。

**友達の気持ちを考え「うんうん」と聞く**

友達の気持ちを考えながら聞き、うなずける

うんうん。きっと、こういう気持ちで考えたのだろうな。

**友達に よいそう**

友達の考えを自分の言葉で言い換えられる  
友達の考えを分かった上で、理由を聞ける  
アドバイスできる

それって、こういうことだね。どうしてそう考えたの？

**考えを生かす**

すぐに多数決で決めない！  
今ある考えのAとBより、よい考えCを目指す  
(A+B=C)

AもBも生かせる方法を考えようよ。

**自分の考えを進化**

自分と友達の考えを比べ、よさを見付け、自分の考えに取り入れられる

その考えにもよさがあるね。ぼくの考えにも取り入れたいな。

<対話を支える心構え>

指導と評価の計画（全70時間）

目標	竹を加工して竹細工を作ったり、竹細工文化に関わる人々の思いを聞いたりし、それらを発信することを通して、こだわりをもってものづくりをすることに楽しさを見いだすとともに、竹の温かみや味わいを実感しながら、自分の生活を豊かにする物を大切にする必要があることの概念的な理解をし、自己の生き方を見つめ、広げる。			
評価規準	<p>(①知識及び技能)竹細工文化やそれにかかわる人々の特徴・よさを理解している。 竹細工文化やそれにかかわる人々の特徴・よさの比較・分類をする思考ツールを使うことができたり、他者の考えを把握しその考えを解決方法に生かしたりしている。</p> <p>(②思考力,判断力,表現力等)竹細工文化やそれにかかわる人々についての課題を設定し、それらについて調べ、調べたことや他者の発言等を根拠として解決方法を導き、実践している。</p> <p>(③主体的に学習に取り組む態度)竹細工文化やそれにかかわる人々への関心を高め、取組への思いや自信をもち、生活を豊かにする物への自己の考え方の変化を感じている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
であう	1	○学級目標や過年度の先輩たちの取組やくすの木タイムの手引きを基に、 <u>関わる人・もの・ことを選択する視点</u> について話し合う。	○過年度の先輩たちの取組から探究のよさを想像できるように、過年度のくすの木タイムでの具体的な活動とその時の成果が分かる振り返りシートや写真を提示する。	◇過年度の先輩の取組を基に、「おもしろそうなもの」「地域のことが分かる」といった関わりたい人・もの・ことを選択する視点を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
	3	○ <u>関わる人・もの・こと</u> の候補を挙げ、 <u>選択する方法</u> を話し合ったり、それらについて試しの竹加工体験で情報収集したりする。	○竹箸や竹コップ、竹細工などの中から関わる人・もの・ことを自分なりに選択し、おもしろそうだなという思いをもてるように、それぞれの竹製品を試しに作る機会を設定する。	◇視点「おもしろそうなもの」「地域のことが分かる」に沿って関わりたい人・もの・ことについて自分なりに決めた理由を記述している <学習プリント②>
	2	○竹の加工方法について情報収集したことを整理し、竹箸や竹コップ、竹細工等の竹製品の中から関わる人・もの・ことにしたいものとその理由を話し合い決める。 <b>学習のめあて：竹のよさが分かるものを作って広める竹細工工房を開こう</b>	○竹箸や竹コップ、竹細工等の竹製品の中から関わる人・もの・ことを選択した際のそれぞれの特徴・よさを比較できるように、関わる人・もの・ことを選択する視点と、メリット・デメリットのシートの用意をする。	◇「おもしろそうなもの」や「地域のことが分かる」の視点で、関わる人・もの・ことを決めた理由を発言したり記述したりしている。 <学習プリント②>
かかわる	1	○美しさや実用的な竹細工と身の周りのプラスチック用品を見比べ、 <u>気づきや疑問を話し合い、課題をつかむ</u> 。 <b>課題：見た目の美しや使いやすさのある竹細工を作るにはどうしたらよいのだろうか。</b>	○人の役に立つものを作りたいという思いをもち、これからの活動に見通しをもてるように、試しの竹加工体験や竹の専門家から聞いたことを振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。	◇今までの学習を基に、これから取り組みたいことを記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②>
	3	○ <u>学校生活で役立つ竹細工作り</u> に向けた計画を立て、作りたい物が似ている友達同士で班を作り、作り方を調べる。	○見た目の美しさや使いやすさのある竹細工を作れた状態を具体的に想定できるように、竹細工の特徴・よさを整理する「評価する人」と「評価してもらう方法」の視点を提示する。	◇竹細工の特徴・よさを複数、記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言①>
	2	○ <u>班で作る竹細工の設計図</u> を書き、竹を加工して、竹細工作りをする。	○作る物に合わせて設計図を考えられるように、専門家の話を整理した資料の提示と、専門家の作った竹細工の用意をする。	◇作った竹細工について、「丈夫さ」や「竹らしさ」等の複数の視点から記述している。 <学習プリント②>
	2	○ <b>作った竹細工を、他の班に見てもらい、他の班の感想を基に改善策を班で話し合う。(本時2/2)</b>	○自他の考えた竹細工のよさと問題点を基に設計図を見直すことができるように、課題を解決した状態の具体図と他の班からの感想を整理するPMNのシートの用意をする。	◇作った竹細工の改善策の根拠を複数記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言②>

	7	○改善策を基に、再度竹細工を作る。	○竹の模様や柔らかさ等の特徴・よさを生かせるように、ものづくりの進み具合を記録する視点として「竹らしさ」を提示する。	◇作った竹細工について、「丈夫さ」や「きれいさ」等の複数の視点から記述している。 ＜学習プリント②＞
	2	○作った竹細工を、他の班と見せ合い、助言を伝え合う。	○作った竹細工について、前回見直した視点以外の視点からも自分なりに、よさや問題点を見付けられるように、課題を解決した状態の具体図とPMNのシートの用意をする。	◇作った竹細工のよさと問題点について、「丈夫さ」や「きれいさ」等の複数の視点から記述している。＜学習プリント②＞
	3	○作った竹細工を調整し、仕上げをする。	○自分たちで見直した視点で竹細工を作り直せるように、課題を解決した状態の具体図とPMNのシートを見返す機会を設定する。	◇自分たちが考えた改善策を基に、竹細工を作り直している。 ＜作製物①＞
	2	○できあがったものについての校内の児童や専門家の方の評価を基に今までの活動の成果を振り返る。	○今までの追究の成果を実感できるように、作ったものとそれを紹介したものを見てもらった校内の児童や専門家からの感想を聞く機会を設定する。	◇校内の児童や専門家からの感想を基に、これまでの追究の成果を記述している。 ＜学習プリント③＞
	5	○自分たちの竹細工への評価を基に、気付いたことや疑問を話し合い、課題をつかむ。 課題：地域の方に竹細工のよさをもっと知ってもらうには、どうしたらよいだろうか	○竹細工の特徴やよさを発信する目的と相手を明確にできるように、まちなかの竹細工を扱う店の見学を振り返る、「意外だったこと」の視点を提示する。	◇今までの学習を基に、市民の方に竹細工の特徴・よさを伝えたいという思いを記述している。 ＜学習プリント①＞
	4	○竹細工の特徴・よさの発信方法を、図書資料やWebサイトで調べる。	○竹細工の特徴・よさの発信方法について自分の考えをもてるように、発信方法に関する図書資料コーナーやWebサイトリストを用意する。	◇竹細工の特徴・よさの発信方法を記述している。 ＜学習プリント①＞
	3	○課題の解決に向けて、 <u>竹細工の特徴・よさを発信するための学習計画</u> を立てる。	○課題の解決方法の妥当性を把握し、追究への見通しをもてるように、竹細工の特徴・よさの発信方法を序列化するピラミッドチャートの枠を用意する。	◇根拠を明確にして、よりよい発信方法について、記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞
	4	○ <u>竹細工の特徴・よさを広めるための方法</u> として、「初市に出店」と「竹ミュージアム」等の候補を挙げ、話し合いを基に決める	○発信方法の特徴・よさを整理しながら比較できるように、課題を解決した状態の具体図とマトリクスの用意をする。	◇「竹細工の魅力が分かる」の具体図をもとに、発信方法について発言したり、記述したりしている。＜学習プリント・発言②＞
	20	○ <u>資料にまとめる内容を</u> 分担して詳しく調べ、「竹ミュージアム」を作り、発信する。	○発表内容やそれに適した方法を決められるように、「竹の特徴」、「竹細工の歴史」、「身近な竹製品」、「竹細工の歴史と前橋市」等の視点や実際の博物館の展示の様子を示した写真を用意する。	◇発表内容に適した絵や図、写真、グラフモデルを用いて発表資料を作っている。 ＜制作物①＞
	2	○「竹ミュージアム」の来館者の感想を集計し、「竹ミュージアム」の成果を話し合う。	○来館者の感想を基に課題の解決状況の評価できるように、課題を解決した状態の具体図と感想を集計するシートを用意する。	◇来館者の感想を基に、これまでの追究の成果を記述している。＜学習プリント③＞
・まいとかめする	4	○「竹ミュージアム」の来館者の感想を基に、実社会へ貢献することと探究的に学習すること及び今までの取組の成果をまとめ、単元全体の学びの価値を話し合う。	○竹細工の捉えの変容や生活を豊かにする物のよさを実感できるように、単元始めの竹細工や、前橋市への思いを記述した学習プリントと掲示物の用意をする。	◇高まった生活を豊かにする物への思いと自らの成長について記述している。 ＜学習プリント③＞

※下線は、主な自己決定や集団決定をする内容